

# ProMED-mail情報 2015年 1月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	H7N9鳥インフルエンザ カナダ	中国旅行から帰国後に発症した北米での初感染例。夫婦2名が発症し回復、その接触者には発症無し。
29日	狂犬病 チュニジア	6歳男児。野犬に前頭部を咬まれ受傷。同日に免疫グロブリン投与、WHOガイドライン暴露後ワクチン接種4回施行後に発症し死亡。
24日	薬剤耐性腸内細菌群 フィンランド	海外旅行者430名の便検査から、その21%に薬剤耐性菌保菌を検出。下痢で抗生剤使用した者では37%に検出。特に、東南アジア、南アジア旅行者の保菌率が高かった。軽度の旅行者下痢症に抗生剤は推奨されない。
22日	口蹄疫 韓国	5 Dec 2014ワクチン未接種の養豚から生じた口蹄疫流行により京畿道、北忠清道を主に、63家畜施設で63000頭が殺処分され、全頭ワクチン接種予定。2010年以降3度の流行あり、多額の経済的損失を被った。
17日	腸炎ビブリオ タイ	通常は貝、甲殻類が感染源となる腸炎ビブリオが、昨日、鶏血液に初めて検出され、鶏処理場は閉鎖。タイでは、鶏血液は食材として広く使用されている。
14日	ヒトパレコウイルス ニュージーランド	ヒトパレコウイルスは小児に胃腸、呼吸器、中枢神経症状をおこす。2012年に保育園で胃腸炎流行した際の2歳児患者の便検体からヒトパレコウイルス3型が初めて検出。ヒトパレコウイルス3型は2004年に日本で初報告。
14日	サルマラリア ドイツ	昨年、タイ、ミャンマーへの旅行者2名がplasmodium knowlesi感染の診断。サルマラリアのヒト感染は以前には希と言われていたが、近年の東南アジア流行地ではヒト感染マラリアの50%以上の罹患。マラリア鑑別診断に血液顕微鏡検査、迅速診断キットはあてにならない。
12日	リステリア症 USA	リンゴ加工工場でリステリア汚染。全米に出荷済。昨年11州31名の食中毒感染で6名死亡。冷蔵庫内でも汚染拡大するため、食品、冷蔵庫内、まな板、カウンターの消毒が必要。
12日	ハンタウイルス 台湾	2014年12月北台湾で環境保全作業に従事した43歳男性が腎症候性出血熱に罹患。2001年以来14例の感染報告。野ねずみ及び付着物に近づかないよう注意。
11日	重症熱性血小板減少症候群 ネパール	過去数ヶ月の間に発熱、5万前後の軽度血小板減少の患者がカトマンズの病院に多数入院し、死亡者なし。ネパールではウイルス診断能力がなく、確定診断が待たれる。
10日	鳥インフルエンザH5N1 エジプト	「エジプト鶏のH5N1ウイルスに、哺乳類への親和性を持った2変異を発見」という報告には異論がある。最近の感染者は鳥との接触歴がほとんどあり、ヒトヒト感染の兆候はない。
9日	クリミアコンゴ出血熱 ロシア	23歳妊婦がRostov地方の病院に入院。挿管され人工呼吸治療を受け8日後に死亡。死亡後4日までに医療従事者8名が、二次感染。うち2名は体液等の接触なく、エアロゾル感染が疑われる。
7日	結核 インド	1962年から1990年までBCG接種。BCGが結核予防に無効と判明してからはDOTSを治療基準に選択。2015年までに結核死亡率半減を目標としているが、国家的サーベイはなく根拠は曖昧。
2日	A型肝炎 USA	ニュージャージー州ハミルトンのRosa食堂の食品取扱者にA型肝炎陽性。同食堂で喫食した住民2名がA型肝炎発症。接触者にワクチン接種を勧告。